



第2回ガントリークレーンの標準化等検討会 議事概要

日時:平成27年3月10日(火)13:30~15:30

場所:東海大学校友会館 35F「相模の間」

1. 議事次第

- 1) ガントリークレーンの仕様の標準化の検討
- 2) ガントリークレーンの高機能化に向けた検討

2. 議事の概要

1) ガントリークレーンの仕様の標準化の検討について

全国のガントリークレーンの仕様に関するアンケート結果をふまえ、標準的なパターンとして設定できる仕様(案)を事務局から示し、審議を行った。委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・ 巻上装置の形式やブレーキは、電動機容量に応じたパターン化が可能であり、現時点でもばらつきが少なく、標準的なパターンを設定することが容易。
- ・ 固定・係留装置は、クレーンが受ける風圧面積の違い等によって要求性能が異なるため、標準化が困難。
- ・ スプレッドは、故障頻度が多い部品であり、標準化することが維持管理する上でメリットがある部品であるが、ツインリフト式のような多機能なスプレッドについても検討が必要。
- ・ 岸壁水深及び対象とするコンテナ船列数に基づき、主要な構造諸元の標準的なパターンを設定することは、クレーン設計者にとって有用。
- ・ 標準化することでメリットのある仕様を示すことにより、新設クレーンの仕様が次第に標準的な仕様に準じていく可能性が高い。

2) ガントリークレーンの高機能化に向けた検討について

ガントリークレーンの高機能化に向けた検討結果を事務局から報告し、審議を行った。委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・ 自動振れ止め技術に関しては、位置の制御と振れ止めの制御を両立させることが困難であり、今後の技術開発が必要。
- ・ 遠隔操作時の視認技術に関しては、カメラで撮影している画像を運転者に対してどのような形で提示するか検討することが必要。